

志村親和町会

私達が住む町、志村親和町会は、昔この辺り一帯が荒川に沿った「徳丸ヶ原」と共に「志村ヶ原」と言われていた所です。昭和に入り、甲種特別工業地域に指定されました。工業地帯へと変貌した私達の町も、太平洋戦争時には米軍のB29爆撃機による爆撃により大きなダメージを受けましたが、昭和26年10月に先人達の努力によって地域世帯数200世帯程度で「志村親和町会」が発足しました。同時期に、都営住宅が数多く建設され、町も大きく変化しました。

昭和43年12月、都営地下鉄6号線（現在の都営三田線）の開通と共に開設された「志村三丁目駅」は私達の町の中心的な役割を担い、町が発展していく大きな要因となりました。その後環状八号線が全線開通し、更に首都高速道路5号線の「中台出入口」も開設されるなど、交通網も充実して大変便利な町となり、ここ数年の間に多くの集合住宅が町内に建設され、現在は私達の町会も3,571世帯を有する「大きな町会」へと発展しました。先人達の努力に感謝すると共に、これからの板橋区町会連合会並びに志村親和町会の安全とますますの繁栄を心から祈念申し上げます。

※令和4年2月28日に発行した「板橋区町会連合会 創立60周年記念誌」の紹介文を掲載しています